

旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがね再生プラン（案）の意見募集の結果について

担当課	生活産業部商工観光課
-----	------------

- 1 意見募集期間 令和3年7月28日～8月18日（22日間）
- 2 閲覧・配布場所 第2庁舎、市立図書館、せきがね湯命館、各地区コミュニティセンター、市HP掲載
- 3 意見及び回答

項目	意見要旨	回答
P3 旧宿泊施設の再生の目的と効果 (1) 関金温泉の現状	全国から注目を浴び始めているものとして「健康増進を目的とした湯中運動」を追記する。	関金温泉を活用した湯中運動は、全国にアピールすべき魅力の一つであることから、湯中運動を追記します。
	関金温泉の弱みとして「アクセスの悪さ」とあるが、「関金は倉吉への高速ルートの玄関口」という認識を強く持ってアピールすべき。関金は、コロナ禍の安全・安心意識の高まりを活かせるエリア。年間誘客数の目標を明確にして市内外にPRすべき。	コロナ禍における国民の安全・安心意識の高まりにより、マイクロツーリズム（近隣へ短距離観光）で三密を避けた旅行を楽しむ人が増えつつあり、関金温泉の弱みとして捉えていた「都市部からのアクセスの悪さ」を強みとして活かしていく考えのもとに再生プラン案を作成しています。関金温泉の年間誘客数の目標は、第12次倉吉市総合計画において、「関金温泉利用者数：令和7年14万人」と定めています。目標達成に向け、旧宿泊施設の再生と併せて、関金温泉のPR方法等も検討していきます。
P4 旧宿泊施設の再生の目的と効果 (2) 関金温泉の課題	関金地区の活動の実績に、「年間1,300人を超える利用者がある健康増進を目的とした湯中運動」を追記する。	「関金温泉の課題」では、主に宿泊機能に関する実績や課題を整理しています。湯中運動は、市民を中心に温泉施設の日帰り利用として大きな実績を上げ、関金温泉の活性化や賑わいの創出に大きく貢献しているところですが、上記の理由により、ここでは記載していません。
P5 1 旧宿泊施設の再生の目的と効果 (3) 再生プランの目的と効果	関金地区には多くの地域資源があり、その魅力を楽しんでもらうため、関金温泉の宿泊施設は、重要なキーポイントとなる。 旧グリーンスコールせきがねが閉館してからは、単に通	関金地区の持続的発展に向けた好循環を創り出すためには、関金地区の多くの地域資源や魅力を県内外の人に楽しんでもらうことで、交流人口の拡大や地域経済の活性化に繋がると考えています。旧宿泊施設の再生プラン案は、

		<p>過する地域になっているが、宿泊して滞在してもらうことで、関金地区の活性化に大いに役立つ。</p> <p>関金地区の「運動」の取組として、「温泉を活用した湯中運動教室」を追記する。</p> <p>また、効果として、「医療費の軽減」を明記する。</p> <p>運動、体験（瞑想体験・ワサビ田など）、食、温泉を通じて癒される町をPRし、交流人口の拡大を図ることが必要である。</p>	<p>御意見と同じ考えに立って策定しています。</p> <p>湯中運動は、関金地区を代表する運動の一つであり、その効果としては、健康増進による医療費の削減であると認識しています。湯中運動の拠点については、現時点で整理が出来ておらず、今後の検討課題であることから、旧宿泊施設の再生プラン案には記載していません。</p> <p>再生プラン案は、御意見と同じ考えに立って策定しています。御意見のあった「癒される町」は、再生プラン案において「安心してくる寛ぐことのできる国民保養温泉地」という表現で表しています。</p>
P6	1 旧宿泊施設の再生の目的と効果 (4) 再生のコンセプトと位置付け	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、密にならない田舎の自然を楽しみ、体験することへのニーズが増えている。</p> <p>「食」と「健康」は、どの世代でも求めているもの。</p> <p>旧宿泊施設の再生と関金の進むべきコンセプトをまとめて発信することで、大きな誘客になる。</p> <p>関金温泉の再生のために宿泊施設は必要である。</p> <p>「健康」をテーマにしていることも共感できる。</p> <p>高齢者が増える中、健康寿命を延ばす「延命温泉」として売り出してはどうか。</p> <p>座禅・瞑想+食+温泉、ウォーキング・トレーニング+食+温泉など、「健康」をテーマにしたプランを作り、高齢者等を誘客する。</p> <p>消費者行動の上位5位以内に「健康維持」、「趣味・習い事」がランクインしており、この2つを実現できるものを提供すればよいのではないか。</p> <p>旧宿泊施設のコンセプトを設定する上で、「健康」の3</p>	<p>コロナ禍における国民の安全・安心意識の高まりにより、マイクロツーリズム（近隣へ短距離観光）で三密を避けた旅行を楽しむ人が増えつつあります。御意見と同じ考えに立って再生プラン案を検討しており、旧宿泊施設の活用案は、「食」を活かした活用案2を基本としています。</p> <p>御意見と同じ考えに立って再生プラン案を策定しています。再生プランに基づき旧宿泊施設の再生に向けた具体策を検討していく中で、「健康」をテーマにした宿泊プラン等の検討を進めていきます。</p> <p>御意見と同じ考え方で再生プラン案を策定しています。「健康維持」を「運動・食・温泉」、「趣味・習い事」を「体験」という形で提供したいと考えています。</p> <p>御意見と同じ考え方で再生プラン案を策定しています。</p>

		<p>要素「栄養」、「運動」、「休養」を意識するようにその旨を明記する。</p> <p>過疎化の歯止めとして旧グリーンスコールを再生することは反対。平日の温泉利用等なら宿泊施設は不要。合宿等の学生を呼ぶにしても運動施設が不十分。ファミリー層を呼び込むための子供の遊べる施設もない。宿泊客を呼び込み、リピーターになる客を増やせる決め手が欠けているように感じる。</p> <p>大山池周辺を大型キャンプ場に整備したり、木の実の里をアスレチック場等に整備して、ファミリー層や学生の林間学校施設として有効活用した方が現実的と考える。</p>	<p>「健康」の3要素に関しては、コンセプトの中で、「栄養」を「食」、「休養」を「体験、温泉」で表現しています。</p> <p>御意見のとおり旧宿泊施設の再生だけで宿泊客を呼び込めるとは考えておらず、再生プラン案の中でも、旧宿泊施設の再生と併せて、関金地区全体の活性化策の充実が必要と記載しています。御意見のあった木の実の里の活用等に関し、関金地区全体の活性化策の一つとして検討します。</p>
P 7	2 旧宿泊施設の主なターゲット	<p>これからの時代は、団体客ではなく、家族や個人の宿泊が多くなると思う。関金地区では、観光や自然体験、星空観察など誘客のできる環境が整っている。</p> <p>ラグビー場、野球場、近隣の自転車競技場など優れた運動施設があり、学生等の合宿を誘致できるなど、旧宿泊施設を再生し、環境を整えることは重要である。</p>	<p>コロナ禍における国民の安全・安心意識の高まりにより、マイクロツーリズム（近隣へ短距離観光）で三密を避けた旅行を楽しむ人が増えており、関金地区にはそのニーズに応えられる環境が整っていると考えています。運動施設に関しても、運動施設と温泉施設等との立地条件が良く、合宿誘致を推進できる環境が整っていると考えており、御意見と同じ考えに立って再生プラン案を策定しています。</p>
		<p>野球場や新しく整備されたラグビー場を活用し、学生・社会人の合宿で利用してもらおう。</p> <p>関金温泉の活性化のため、早く進めてほしい。</p>	<p>関金地区の運動施設は、温泉施設等との立地条件が良く、合宿誘致を推進できる環境が整っていると考えており、御意見と同じ考えに立って再生プラン案を策定しています。再生プランが固まった折には、関金温泉の活性化のためにスピード感をもって事業を進めていきます。</p>
		<p>主なターゲットは妥当と考えるが、更に「地域住民（市民）」と「学生、湯治客（近県）」をメインターゲットとすべき。</p>	<p>御意見と同じ考えに立って再生プラン案を策定しています。民間事業者を対象にしたサウンディング調査においても、今後5年間は市民や近隣の方をターゲットにすべき</p>

		との意見もあったことから、主なターゲットとして設定しています。今後の観光動態や観光ニーズを注視しながら旧宿泊施設の再生を図っていきます。
	スポーツ応援宿泊施設としての整備を希望する。具体的には、運動施設の利用を前提とした宿泊割引、トレーニング機器・研修ルームの設置、小中学生等の食事指導を行う。競技施設と宿泊施設の連携で、大会、合宿、練習試合の誘致を積極的に行うべき。	関金地区の運動施設は、温泉施設等との立地条件が良く、合宿誘致を推進できる環境が整っていると考えています。更に、トレーニング機器の設置が合宿地の魅力アップに繋がるかを検証するため、今年度中に実証実験を行う予定にしています。再生プラン案を具体化していく中で、御意見の内容を旧宿泊施設の再生に向けた具体策の一つとして検討します。
	日本の文化であるアニメを好む人をターゲットに、廃線跡や大山池、星空等の地域資源を活用してコスプレの撮影地として提供する等により、平日、休日を問わず、地域の誘客、PR・ブランド化に繋がるのではないかと。	本市独自の取組として、歴史的資源（レトロ）とアニメを含むポップカルチャー（クール）を活かした観光誘客（レトロ&クールツーリズムと呼んでいます。）を推進しています。関金地区の魅力的な地域資源を活用するためには、関金地区の発信力の強化が必要と考えており、御意見と同じ考えに立って再生プラン案を策定しています。今後、プラン案を具体化していく中で御意見を参考にします。
	蒜山と観光、スポーツの面で連携し、誘客促進を図る。	真庭市蒜山地域の観光客は、年間200万人を超えており、そのうち約66%の方が自家用車で訪れていることから、御意見と同じ考えに立ち、再生プラン案の中で、「ファミリー・個人（近県）」を主なターゲットとして設定しています。今後、プラン案を具体化していく中で、蒜山との連携も検討します。
	関金地区の飲食店の知恵をもらいながら、ご当地グルメの開発やスイーツカフェ等で女性客を取り込んではいかがでしょうか。なお、地域住民等を施設に呼び込むためには、送迎が必要である。	民間会社の調査で、旅行先を決める上で重視するポイントのトップ3の中に「グルメ（食）」が入っています。御意見と同じ考えに立ち、関金の「食」を活かすことで、関金地区への観光誘客や第一次産業の振興に寄与すると考え、

			再生プラン案の中で、旧宿泊施設の再生にあたり、活用案2を基本としたところです。また、送迎に関しても、再生プラン案を検討する中で、「移動手段」が関金地区の弱みとして整理しており、今後、プラン案を具体化する中で検討します。
P 8	3 旧宿泊施設の用途・機能 (2) 旧宿泊施設の機能	<p>平日の収益を上げる仕組みとして、現在、倉吉市給食センターに不足している「給食用バットの洗浄・保管設備の導入」を検討してはどうか。</p> <p>施設の宿泊客の少ない平日に洗浄作業が可能なので、平日の収益に繋がる。</p> <p>また、施設の繁忙期になる長期休みのには、学校も休みなので洗浄作業の必要がない。</p> <p>更に、障がい者の福祉作業の受け皿にもなり得るので、障がい者支援にも繋がるなど、関金地区だけでなく、市全体にメリットのある取組になると考える。</p>	<p>旧宿泊施設の持続的な施設運営を行うためには、再生プラン案で示したように「いかに平日の利用促進を図るか」が再生の大きな鍵になると考えています。再生プラン案を具体化していく中で、平日の収益を上げる仕組みの一つとして、御意見のあった「給食用バットの洗浄・保管設備の導入」も検討します。</p>
		<p>トレーニング機器を完備して健康増進施設+温泉+食で売り出せる。</p>	<p>関金地区の運動施設は、温泉施設等との立地条件が良く、合宿誘致を推進できる環境が整っていると考えています。更に、トレーニング機器の設置が合宿地の魅力アップに繋がるかを検証するため、今年度中に実証実験を行う予定にしています。再生プラン案を具体化していく中で、御意見の内容を旧宿泊施設の再生に向けた具体策の一つとして検討します。</p>
P13	6 旧宿泊施設を指定管理者制度で運営した場合の収支モデル（想定）	<p>旧館と新館の宿泊費の格差が心配だが、ラグビー場等の活用など、市民のために前に進んで行ってほしい。</p>	<p>再生プラン案の主なターゲットとして、「ファミリー・個人」の短期間利用と、「学生・湯治客（近県）」の中長期利用を想定しており、特に、学生の合宿誘致等を推進するためには、可能な限り宿泊料を抑えたいと考えています。</p> <p>御意見のとおり関金地区の運動施設は、温泉施設等との</p>

			立地条件が良く、合宿誘致を推進できる環境が整っていると考えています。再生プランが固まった折には、関金温泉の活性化のためにスピード感をもって事業を進めていきます。
P14	7 総括	<p>用途案②では、「健康」の3要素の一つである「運動」が不足しており、「健康」テーマとした再生プランとしては不十分なので、用途案①を採用し、温泉を活用した運動プログラム（アクアビクス等）を提供することにより、他地域との差別化を図るべき。</p> <p>「地域への貢献」に関する評価として、「医療費の軽減」を追記すべき。</p>	御意見のとおり旧宿泊施設の『活用案2』では運動要素が不足していることは承知しており、「食」を活かした『用途案2』を基本としつつ、指定管理者の創意工夫で『活用案1』の健康増進施設（運動）を付加することも可能としています。温泉を活用した運動プログラムの提供に関して、現時点で旧宿泊施設とすべきか、日帰り温泉施設のせきがね湯命館とすべきか整理が出来ておらず、今後の検討課題であることから、旧宿泊施設の再生プラン案には記載していません。医療費の削減に関しては、地域への貢献に記載している「市民の健康増進」や評価に記載している「社会保障費の抑制」という言葉で表現しています。
P23	関金地域の地域資源の特徴等について	<p>体育館が老朽化し、集客できない施設になっているので、設備の整った施設に建て替えれば、インドアスポーツも誘致できる。その他マウンテンバイク、スケボーの施設など関金を施設の揃った総合運動場にしてほしい。</p>	御意見のとおり旧宿泊施設の再生だけで宿泊客を呼び込めるとは考えておらず、再生プラン案の中でも、旧宿泊施設の再生と併せて、関金地区全体の活性化策の充実が必要と記載しています。御意見のあった体育施設の充実に関し、関金地区全体の活性化策の一つとして検討します。
P25		<p>体験型教育の中に、「健康(地域の健康)」に繋がるSDGs関連の体験や施設内の草刈りなど運営の経費削減に繋がる体験活動を準備し、小中高の学生や専門学校の学生のための教育旅行として活用してはどうか。</p>	体験型教育旅行の誘致に関しては、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会が取組を進めています。御意見に関しては、同協議会と情報共有し、体験プログラムの充実に向けて検討します。
P30	旧倉吉市国民宿舎グリーンスコールせきがねのゾーニングについて	<p>浴場ゾーンの「露天風呂」の設置は良いと思う。高台の景観の良さをアピールできる。</p>	再生プラン案の策定にあたり実施した民間事業者を対象としたサウンディング調査等でも、御意見と同じ評価をいただいております。再生プラン案の中で「露天風呂の設置」

			を明記しています。
P31	関金温泉の戦略的施策（例）について	SWOT分析の弱み、脅威の中で、絶対的に解決が必要なもの、キャッシュレス決済やネット活用等のデジタル化に対する予算を確保すべきではないか。	本年9月1日、デジタル社会形成の指令塔として、国にデジタル庁が発足し、今後、国全体でデジタル化が加速していくと予想されます。デジタル化の推進により、観光客の利便性やマーケティングの向上が図られ、観光動態に大きな影響が生じることから、デジタル化の波に乗り遅れないよう、国、県の動向を注視しながら必要な対策を検討します。